

現職教員特別参加制度による  
青年海外協力隊員各位

## e 支援システム活用の手引き

文部科学省による国際教育協力のための拠点システム派遣現職教員支援事業では、派遣現職教員の活動を支援するために、派遣隊員メーリングリスト、電子掲示板、e アーカイブ（電子図書館）を利用した“e 支援システム”を構築することになりました。つきましては、これからの2年間、現地の教育協力活動をより充実したものにするために、ぜひe 支援システムを積極的にご活用下さい。メーリングリスト上で皆さんと対話できることを楽しみにしております。

平成 16 年 8 月  
筑波大学教育開発国際協力研究センター  
助教授 磯田正美

### 記

- 1 「派遣現職教員支援のためのメーリングリスト」の紹介
- 2 「派遣現職教員支援のための掲示板」の紹介
- 3 「e アーカイブへの協力経験」の登録マニュアル

### 参照 URL

- ・ 派遣現職教員支援事業のURL <http://www.criced.tsukuba.ac.jp/jocv/>
- ・ eアーカイブのURL <http://archive.criced.tsukuba.ac.jp/>

本件についての問い合わせ先

[jocv@criced.tsukuba.ac.jp](mailto:jocv@criced.tsukuba.ac.jp)

派遣現職教員支援事業事務局：担当 小原豊

[miyakawa@criced.tsukuba.ac.jp](mailto:miyakawa@criced.tsukuba.ac.jp)

eアーカイブ設置事業事務局：担当 宮川健

本件責任者

[msisoda@human.tsukuba.ac.jp](mailto:msisoda@human.tsukuba.ac.jp)

派遣現職教員支援事業代表者：磯田正美

## 1 「派遣現職教員支援のためのメーリングリスト」の紹介

筑波大学教育開発国際協力研究センターでは、隊員各自が持っているノウハウ、経験を、これから派遣される協力隊員や派遣中の協力隊員に役立てるようになる仕組みづくりを試みております。その一つとして、派遣中の隊員同士、もしくは派遣中の隊員と帰国隊員が直接対話し、任地における情報を交換することによって教育協力活動をより効果的なものになりたいと考え、派遣現職隊員支援メーリングリストを開設しています。現在、80人を超える帰国隊員及び派遣中の隊員が登録しております。

本メーリングリストでは、e-mailによるメッセージの配信のみでなく、過去のメッセージをホームページにてメーリングリストのメンバーのみに公開しています。参考までに、過去のメッセージのページのイメージを以下に載せておきます。

本メーリングリストは、基本的に派遣現職教員の皆様は全員参加するものとお考え下さい。  
「登録申込書」は、別途配布させていただきます。  
ご意見ご質問は[jocv@criced.tsukuba.ac.jp](mailto:jocv@criced.tsukuba.ac.jp)(担当 産学官連携研究員 小原)までお願いします。

## 2. 「派遣現職教員支援のための掲示板」の紹介

### (a) 国際理解教育 お助け掲示板

以下の URL で、国際理解教育に関する質問に画像をまじえてお答えしています。設置の主旨は、国際関係に興味をもっている子どもたちの素朴な疑問や、現地の情報が欲しい方々の質問に答えることなどを通じて、国際理解教育についてのお互いの理解を深めると同時に、派遣隊員の皆さんの活躍が還元される場を用意することです。

<http://www.criced.tsukuba.ac.jp/cgi-bin/jocv/bbs10.cgi>

【事業トップページ】 【掲示板トップページ】

### 国際理解教育 お助け掲示板

この掲示板では、国際理解教育に関する質問に画像をまじえてお答えします。どんどん質問してください。

画像ファイルの大きさは200KB以内をお願いします。  
それより大きいものは登録されません。

名前   
メール   
HP   
題名   
内容   
画像   
修正キー \*\*\*\*\* (英数8文字以内)

キルギス あさか 2004年5月22日(土)13:43

キルギスの小学校ではどのような生活を送っていますか？

派遣先の先生方と子ども達の接点の1つに... おはら 2004年5月21日(金)11:28

 この電子掲示板が、派遣先で活躍していらっしゃる隊員の皆さんと、国際関係に様々な興味をもつ子どもたちの接点の1つになるようにしたいですね。支援の輪が広がって様々な国への興味を様々な国の方々が答えて、みんなの理解が深まっていく。そんな掲示板にできれば素晴らしいと思います。ちなみに左の写真は、ホンジュラスでご活躍中の田代先生です。

これは練習です。 みやかわ 2004年5月20日(木)8:55

 左のように写真を貼ることができます。画像は、.jpgと.gif形式が利用可能です。ファイルの大きさを最大200KBに制限していますので、ご注意ください。200KBは、800\*600、640\*480の大きさの写真であれば、だいたい貼れると思います。

(b) 派遣現職教員専用 情報共有掲示板

前述のメーリングリストは、開発途上国の通信事情などから添付ファイルを送ることが出来ません。そこで、実際に派遣隊員の方から「指導案を共有したい」との声を受け、以下のような掲示板を設置、稼働させています。

(例) 指導案を共有するための掲示板

<http://www.criced.tsukuba.ac.jp/cgi/jocv/clip/clip.cgi>

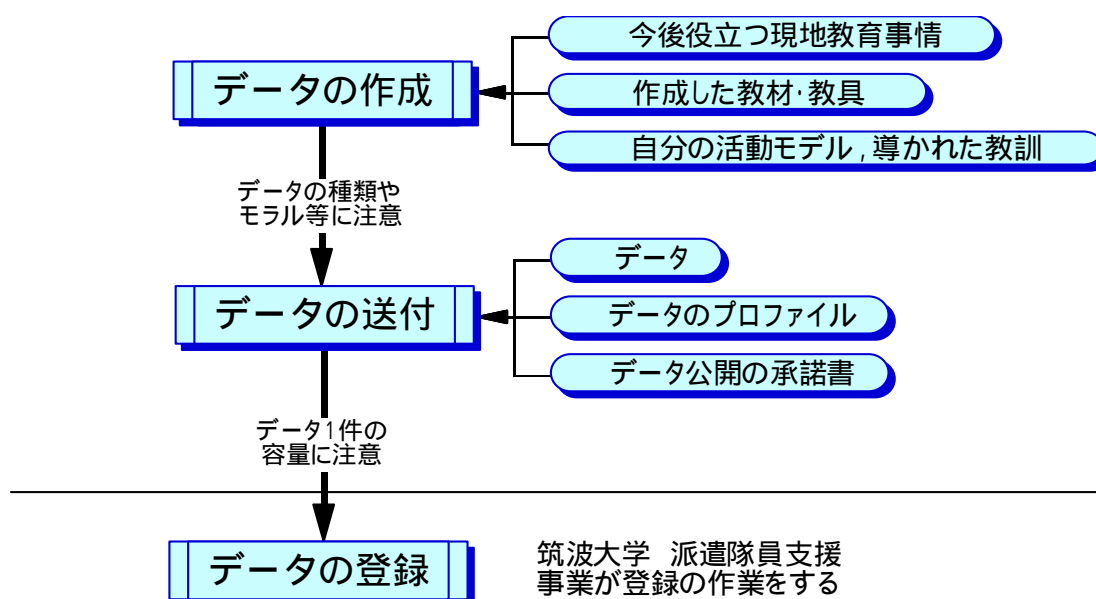


今後、このように特定の目的をもつ掲示板を、皆様の声をもとに次々と作成していく予定です。メーリングリストを通じて、積極的にどんどんご意見・ご要望をお知らせ下さい。

### 3. 「e アーカイブへの協力経験」の登録マニュアル

平成 16 年度派遣隊員の皆様は、これからの 2 年間、現地の教育に貢献することは勿論、今後の教師生活に役立つ貴重な経験をなさることと存じます。文部科学省による本事業では、皆様の経験を e アーカイブへ登録いただき、広く国際教育協力を推進する方々の間で共有できるように致しました。

『電子アーカイブへのデータ登録』は、「データの作成」、「データの送付」、「データの登録」の 3 つの手順をふんで行なわれます。最後の手続きである「データの登録」は、本事業が行なうため、以下「データの作成」、「データの送付」についてご説明します。



協力経験をアーカイブ登録するまでの流れ図

#### 1. 「データの作成」

膨大な分量をデータとしてひとかたまりで入れると利用者側の利便性が損なわれてしまうため、アーカイブ登録されるデータは、情報をできるだけ小分けにしてご登録願えれば幸いです。例えば、以下 A,B,C というデータの分類を示してみます。この A, B, C には必ずしも 1 件ずつしかデータが入らないという訳ではなく、ご自身で主題（例えば、「ホンジュラスの算数教科書事情」 etc）を設けた上で、A に 2 つの情報、B に 3 つの情報、C に 1 つの情報などのように更に小分けにして登録すると、閲覧される方が目的に応じて検索し易くなります。

#### A 「今後役立つ現地教育事情」

日本の教育の特質と現地の状況を明確にするため、現地の教育の改善を計画され、実施する際などに参考になる内容です。現職で派遣される皆様は日本の教育経験をお持ちで、それとの対比で、現地の教育を考えることができます。

（例）現地環境、現地の学校制度・教育課程、その実施状況、教科書、指導法、学力調査、日本との比較など教育の推進に関わる実態、日本と比べての具体的な“びっくり体験”など。

B「今後役立つ活動内容（職務内容）」及び「職務上得られた所産・教材」  
後続の方が活動をはじめるときに直接役立つ教材等の参考資料を想定します。  
（例）教材プリント、指導案などの教育内容に関する情報、現地で使われる教科書の抜粋とその指導上の工夫などに関わる資料そのもの。

C「自分なりに進めた活動の展開」と「自分の活動経験から導かれた教訓」  
後続隊員が、皆様のご苦勞を自らの糧として役立ててることができます。  
（例）授業研究の展開モデルとして、ご自身の経験を時系列に沿って簡潔にまとめる。  
当初、同僚（カウンターパート）の仕事のやり方に驚いた。例えば、…  
最初の数ヶ月、自身の指導法をみてもらうように努めた。例えば、……。  
次の数ヶ月、指導法を同僚と話し合う時間を設けた。  
数ヶ月、……。実際には、現地の同僚の対応は……。そこで、etc

その他、データ作成上ご確認頂きたいことは、以下3点です。

現職教員が日本の教育経験を生かして任地で実際に展開された活動や教材、成果としてまとめて下さい。将来、後続く隊員が、同じような状況に直面したとき、助けとなるようなご苦勞に対する“ポジティブな教訓”としてのデータを期待しています。

日本での教育経験を活かしつつ、現地向けに開発した教材であり、教職経験のない隊員にも参考になるように登録データをまとめて下さい。

作成に際して、参考にした文献などでありましたら、資料の最後にお書き下さい。また、情報提供に謝辞を表す必要がございましたら、お書き下さい。

#### ・データの送付

データ1件ごとに「データ」「データのプロフィール」「データ一般公開に関する承諾書」の3点をひとまとまりにしてお送り頂きます。

##### (1) データ

電子アーカイブへの登録作業そのものは、本センターの派遣現職教員支援事業が行います。皆様には、そこへ登録させて頂きたいデータの作成をお願い致します。

##### (2) データにつけるプロフィール

ご提供頂くデータを1件ずつ検索・利用しやすくするために、その登録データ内容に関するプロフィール情報（教材の概要、キーワード、執筆者への問い合わせ先など）を必ず添付下さい。

##### (3) データの一般公開に関する承諾書

国際教育協力のための拠点システム電子アーカイブによりインターネット上で一般公開することへの承諾書をデータに添付下さい。

承諾内容：インターネット上で公開すること。また著作権は執筆者が保持するが、同時に情報倫理上の責務も負うこと。情報をアーカイブとして保有する機関（筑波大学教育開発国際協力研究センター）は必要に応じて情報の登録・抹消に関わる権利を有すること  
情報倫理（個人情報保護、肖像権、著作権）については以下URLをご参照下さい。  
<http://www.nicer.go.jp/ethics/>

(1)と(2)は、データ 1 件ごとにフォルダを分けて、CD-Rom かフロッピーディスクでご提出下さい。特に、現地語フォントを利用して再生できない恐れが大きい場合には、ハードコピー（印刷して出力した物）を添付して下さい。また(3)は、ボールペンで記載してお送り下さい。1つの承諾書に、複数の資料名を記入しても差し支えありません。なお大変恐れ入りますが、送料はご負担の程お願い致します。

上記 (2)(3)の用紙は添付いたしますが、以下のURLからもダウンロードできます。  
<http://www.criced.tsukuba.ac.jp/jocv/irai/>

#### お送り頂きたいデータの形式

お送り頂く情報は、登録するデータ容量：登録データ 1 件について 5 MB まででお願いします。

1 件のデータの最大サイズは 5 MB までですが、特に一人の方が登録できる情報の全体容量も、原則的に 5 MB までとします。例えば、お一人の方で、A で 2 件（1 MB と 1.5 MB）、B で 3 つの主題（0.5 MB、0.8 MB、1 MB）、C に 1 つの主題（0.1 MB）で、計 4.9 MB というように登録できます。それ以上のサイズになる場合は、事務局にご相談下さい。

具体的には、

ア) 紙媒体でお送り頂く場合：A4 サイズで 10 頁まで。

紙媒体をスキャナで読み込み、PDF 化する作業は、当方で行います。

イ) PDF ファイルでお送り頂く場合：PDF ファイルで 5 MB まで。

頂いたファイルをそのままこちらで登録します。

ウ) MSWord、一太郎などのファイルでお送り頂く場合：A4 サイズで 100 頁まで。

頂いたファイルを本センターで PDF ファイルにしますが、以下 2 点にご注意下さい。

- (i) ごく稀に、完全に PDF できない場合もございます。そこで発生する誤り等は、ご容赦下さい。誤りがご心配な方は、ご自身で PDF にして下さい。
- (ii) 必要に応じて現地語フォントを利用くださって結構ですが、こちらで PDF 化できない恐れがあります。利用者の環境によっても、再生時に文字化けが起こります。日本語でも珍しいフォントを使えば文字化けする点を予めご了承下さい。

#### 送り先住所

〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1 - 1 - 1  
筑波大学教育開発国際協力研究センター「派遣現職教員支援事業」係